

CentreCOM® 8224XL リリースノート

ファームウェアバージョン 1.2.12J

この度は、CentreCOM 8224XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。


1. 機能追加された項目

本バージョンでは、前バージョン(1.2.9J)から以下の項目が追加されました。

1.1 拡張モジュール AT-A14 のサポート

本バージョンより、拡張モジュールの AT-A14(1000BASE-T ポート x1 ポート) の使用が可能になりました。

1.2 マネージメントポートの VLAN 割り当て(Assign Management Port To VLAN オプションの追加)

 「オペレーションマニュアル」 2-67 ページ

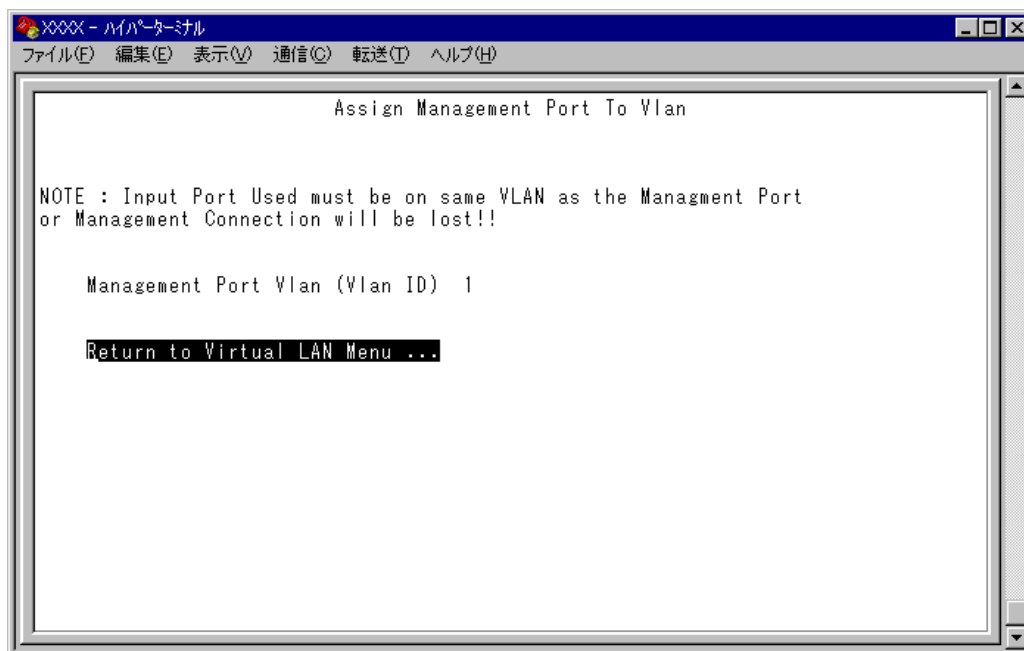
本バージョンより、管理用のマネージメントポートを Default VLAN 以外の VLAN に割り当てることが可能になりました。

デフォルト設定では、マネージメントポートは「Default VLAN(ID = 1)」に所属しています。Default VLAN 以外の VLAN にマネージメントポートを割り当てる場合に、このオプションであらかじめ定義された VLAN の ID 番号を設定します。(VLAN ID は、「VLAN Definition Menu」画面から各 VLAN ごとに設定します。)

マネージメントポートと本体へのアクセスを行うポートは同一の VLAN に属している必要があります。マネージメントポートと異なる VLAN に属しているポートから本体にアクセスすることはできませんのでご注意ください。また、マネージメントポートを複数の VLAN に所属させることはできません。

マネージメントポートの VLAN 設定手順


1. [Main Menu] -> [Virtual LANs/QoS] -> [Assign Management Port To VLAN] とすみ、次の画面を表示します。



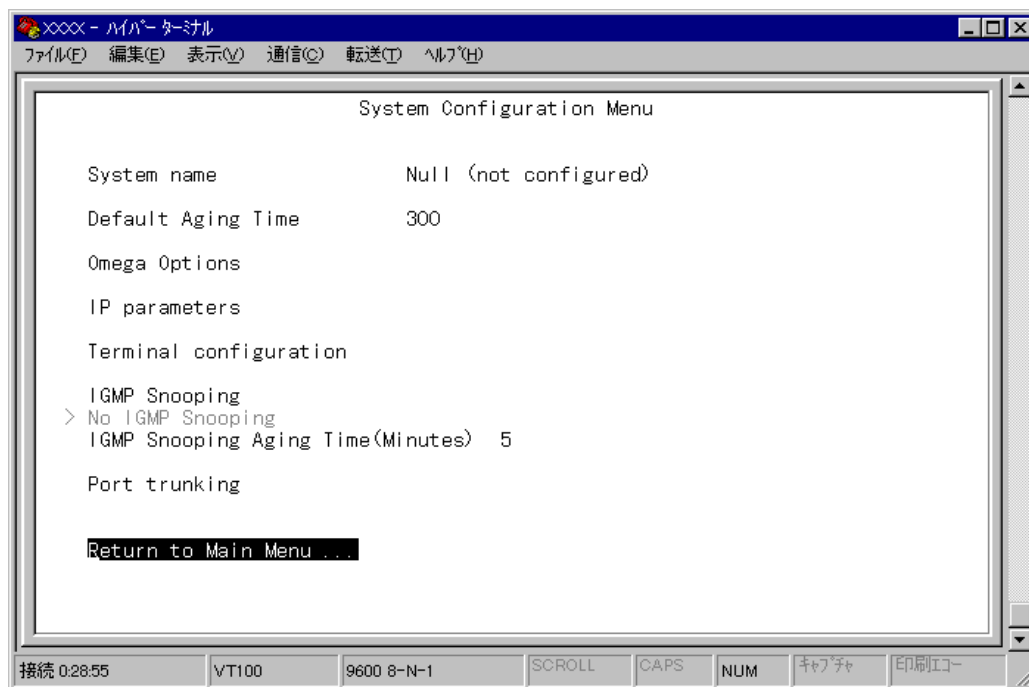
2. [M]を入力して、既存のIDをハイライト表示します。
3. [Enter]キーを押して、「->」プロンプトを表示します。
4. 「->」プロンプトに続けて、あらかじめ定義されたVLANのID番号を半角数字で入力します。

ファームウェアバージョン 1.2.5J から 1.2.9J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

1.3 IGMPスヌーピング エイジングタイム設定(IGMP Snooping Aging Timeオプションの追加)

 「オペレーションマニュアル」2-50 ~ 2-51 ページ

バージョン1.2.9Jより、IGMPパケット専用のエイジングタイムを設定することが可能になりました。デフォルトは5(分)です。エイジングタイムを設定すれば、IGMP スヌーピング機能が有効な場合、設定した時間内にIGMPパケット(レポート・メッセージ)の送信がないマルチキャストパケット・ポートは自動的に削除されます。




IGMP スヌーピング エイジングタイムの設定手順

1. [Main Menu] -> [System Configuration] とすすみ、**[↓]**を複数回押して、IGMP Snooping Aging Time(Minutes)の入力フィールドにカーソルを移動します。
2. **[Enter]**キーを押すと「->」プロンプトが表示されます。
「->」プロンプトに続けて 1 ~ 9999(分)の半角数字を入力し、**[Enter]**キーを押します。
「0」ゼロを入力して**[Enter]**キーを押すと、この機能は無効となります。(登録されたマルチキャストパケット・ポートはシステムがリセットされるまで削除されません。)

ファームウェアバージョン 1.1.3J から 1.2.4J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

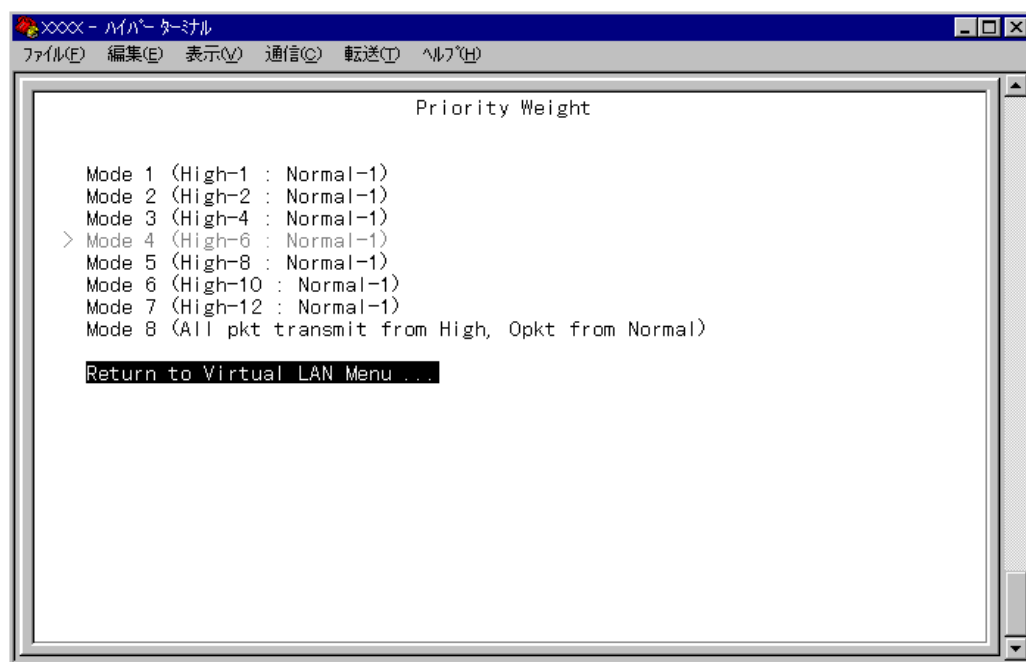
1.4 帯域保証の割合設定(Priority Weight configuration メニューの追加)

 「オペレーションマニュアル」 2-76 ページ

バージョン 1.2.4J より、プライオリティキュー High・Normal の帯域保証の割合を 8 つの Mode から選択することが可能になりました。

帯域保証の割合の設定手順

1. [Main Menu] -> [Virtual LANs/Qos] -> [Priority Weight configuration] とすすみ、次の画面を表示します。



2. 帯域保証の割合を Mode 1 ~ Mode 8 より選択します。デフォルトは Mode 4 (High-6 : Normal-1) です。
Mode 1 ~ Mode 7 のカッコ内の表示、「High- X(1, 2, 4, 6, 8, 10, 12) : Normal-1」は、High プライオリティキューのパケットを X 個送信後に Normal プライオリティキューのパケットを 1 個送信することを示します。
「Mode 8 (All pkt transmit from High, Opkt from Normal)」は、High プライオリティキューのパケットを全て送信後、Normal プライオリティキューのパケットを送信することを示します。

2. 本バージョンで修正された項目

本バージョンでは、前バージョン(1.2.9J)から以下の項目が修正されました。

- 2.1 ポートランキング機能において、ランキンググループの次のポート(1 ~ 4 ポートでランキンググループを構成した場合、ポート 5 がこれに該当)が、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットを送信しない問題がありましたが、これを修正しました。
- 2.2 スパニングツリー機能を他社製品との組み合わせにおいて使用した場合、接続先の機器から受信した 65Byte 以上の BPDU を正しく認識できない問題がありましたが、これを修正しました。
- 2.3 マネージメントポートから送信される ARP request パケットを Default VLAN 以外のポートにも送信してしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 2.4 システム管理(Administration)メニュー内[Diagnostics]オプションを選択して表示される画面のシステムの稼動経過時間(例 : 「Running 2 days, 3 hours, 4 minutes, 5 seconds」) および SNMP RFC1213 MIB オブジェクト[SystemUpTime]の値が正しく表示されない場合がありましたが、これを修正しました。
- 2.5 AT-A14(1000BASE-T 拡張モジュール)のサポートにともない、1000BASE-X / 1000BASE-T アップリンクポートのデフォルトポート名「Uplink Port x(GB)」を、それぞれ「Uplink Port x(G/T)」(= AT-A14)、「Uplink Port x(G/X)」(= AT-A15)に変更し、画面上で区別ができるよう修正しました。
- 2.6 下記オプションにおいて、ネットワーク上の他のシステムを「MAC アドレス(Ethernet address)」によって指定できない問題がありましたが、これを修正しました。


ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)「Update software in another system」
リモートシステムへの接続「Connect to a remote system」
Ping テスト「Ping a remote system」

3. 本バージョンでの制限事項


3.1 スタティック MAC アドレステーブルについて

以下の機能は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。


スタティック MAC アドレス表示 「All Static MAC Addresses」

 「オペレーションマニュアル」2-93 ページ


スタティック MAC アドレスの追加・消去 「Add MAC address/Delete MAC address」

 「オペレーションマニュアル」2-95 ~ 2-98 ページ

マルチキャストアドレスの追加・削除 「Add MAC address/Delete MAC address」


 「オペレーションマニュアル」2-100 ~ 2-103 ページ

スタティック MAC テーブルの消去 「Clear static MAC table」

 「オペレーションマニュアル」2-104 ページ

3.2 拡張モジュールについて

拡張モジュールを1枚のみ使用する場合は、上段のスロット(スロットA)に装着してください。

 「ハードウェア設置マニュアル」3-7 ~ 3-8 ページ

AT-A15/SX・AT-A15/LX をご使用の際は、GBIC モジュールの取り外し、他の GBIC モジュールとの差し替えはしないでください。他の GBIC モジュールを装着した場合のサポートはしておりません。


3.3 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

3.4 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

3.5 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ


[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

3.6 1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートのポートランキング機能について

 参照「オペレーションマニュアル」2-52 ~ 2-54 ページ


1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートにおいて、ポートランキング機能は未サポートとなっております。

3.7 1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートのポートミラーリング機能について

 参照「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

3.8 ポートミラーリング機能について

 参照「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品がミラーリングするパケットは次のとおりです。あらかじめご了承ください。

Source port から送信されるパケットをミラーリングします。


Source port で受信し、フォワード先のスイッチポートから送信されるパケットをミラーリングします。学習済みのユニキャストパケットについては、フォワード先のスイッチポートのタグ付き / タグ無し設定が Destination port にミラーリングされます。

また、Source port でシステム本体宛てに受信したパケット(Ping など)は、タグ無しパケットとしてミラーリングされます。

3.9 スパニングツリー機能について

IGMP スヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMP スヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。


3.10 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 参照「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[Ethernet statistics] メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。


4. マニュアルの誤記訂正

4.1 ポートトランキングの設定について


 「オペレーションマニュアル」2-54 ページ

ポートトランキングの設定に関する記載に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

⑧ 誤


 複数のポートトランキングは設定できません。
また、ポート 4～7 やポート 15～20 のような、「Port for port trunk 1～5」のグループにまたがるポートトランキングは設定できません。

⑧ 正

 複数のポートトランキングは設定できません。
また、ポート 4～10 やポート 15～20 のような、「Port for port trunk 1～5」のグループにまたがるポートトランキングは設定できません。

ポート 4～7 は、「Ports for port trunk 1(01-08)」に属していますので、ポートトランキングの設定は可能です。

4.2 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

⑧ 誤

2,047 個

⑧ 正

254 個